

# 令和3年度 事業報告書

# 公益財団法人ふくい産業支援センター

## 令和3年度 事業報告

### 概要

当センターでは平成31年3月に福井県が改訂した「福井経済新戦略」にもとづき、県内企業の新分野進出等を促進する中核的支援機関として県や他の機関等と連携を図りながら、新しい取り組みに意欲的にチャレンジする企業を積極的に支援しました。

県が新たに開設した「ふくいDXオープンラボ」の運営を行うほかDX関連セミナーや専門家チームによる企業相談や専門家派遣、DX社内人材育成研修の開催を実施しました。

また、DX化を促進するために必要なITシステム導入の費用を支援するために、IT導入支援補助金、IoT・AI・ロボット等導入促進事業補助金、5G通信環境を活用した実証事業補助金の助成を行いました。

ベンチャー企業の成長、新事業進出促進の伴走型支援を行い、専門家を配置したベンチャー向け相談窓口の設置、創業意欲醸成セミナーや創業者プレゼン会、創業塾の開催、ベンチャー企業経営者に向けた戦略塾やベンチャーピッチ、専門家による個別メンタリングを実施しました。

従来の県内外への販路開拓を希望する企業の業種の対象を食品から県産品へと拡大し、食品および生活雑貨関連業者を対象に大規模専門展示会への出展支援や、今年度は新たに百貨店等の県外流通業者とのWeb商談会を開催しました。また、県内企業の越境ECを活用した販路開拓について、越境ECコンサルタント会社と県内企業とのマッチング会を実施し、越境ECコンサルタントによる伴走型支援を行いました。

ふるさと産業の成長発展の促進を図るため、高い成長意欲と優れた技術を持つ中小企業の企業規模拡大に向けた新事業展開の取り組みに対して助成しました。

「ふくいオープンイノベーション推進機構」で行う、産学官金連携による研究開発プロジェクトで得られた研究開発成果を新規分野に転用することにより、製品化を支援し、売上げの拡大を支援しました。

「福井ものづくりキャンパス」における講座・教室等の開催などに加え、デザイン導入時の課題解決や商品・サービスの実現につながるセミナーや展示販売会の開催など総合的にサポートすることで、売れる商品づくりを支援しました。

中小企業産業大学校において、体系的な集合研修のほか、「ものづくり改善インストラクタースクール」を継続して開講し、幅広い人材の育成を支援しました。また、現場での実践・展開を通して具体的な生産性向上につなげる「改善提案の具体化」を行うことで、より多くの県内ものづくり企業の生産改善活動を支援しました。



《チーフコーディネーター》1名 《コーディネーター》16名

○相談実績 5,524件

(3) 高度化事業診断 (975,295円)

県が実施する中小企業高度化事業に伴う診断業務を受託しました。

○診断件数 2件

(4) **新**DX(デジタルトランスフォーメーション)推進 (56,451,620円)

DXに取り組む企業のための拠点施設を運営するとともに、専門家によるアドバイス、社内人材の育成研修、研究会の開催等の取組みをとおして、デジタル技術活用のレベルアップを図り、県内企業のDX推進を支援しました。

①ふくいDXオープンラボの運営

県内でのDXを促進し、県内企業のデジタル技術による業務やビジネスの変革を促進するため、最新のAIアプリケーションやサービスロボット、IoT機器等のビジネス活用や技術に関する体験や導入事例の展示コーナーの運営、県内企業のDXに関する相談対応、各種セミナーや勉強会、研究会等を実施する「ふくいDXオープンラボ」を運営しました。

(ア) ふくいDXオープンラボの運営

○令和3年6月14日 開設(福井県産業情報センター1階)

○来訪者数 3,044人 相談対応件数 141件

(イ) 最新のデジタルツールの体験やDX事例展示コーナーの設置

○年3回更新 新規6点展示

(ウ) 勉強会、研究会の開催

○勉強会開催数 15回 参加者数 182名

○研究会開催数 3種24回 参加者数 46名

②DX推進チームの創設

DX戦略アドバイザーを中心に、IT専門家やAI・IoTの技術に詳しいスタッフ等によるDX推進チームを創設し、相談対応等をつうじて県内企業のDX推進を支援しました。

なお、外国人IT人材については、新型コロナ感染拡大の影響で来日できず採用に至りませんでした。

③セミナーおよび企業視察会の開催

DX化の促進に資するためのセミナーを開催しました。なお、新型コロナ感染拡大により、企業視察会は中止しました。

○セミナー開催数 8回 参加者数 801名

#### ④DX 専門家派遣

DXの企画・導入を指導できる専門家を派遣し、デジタル技術による業務改善や生産性向上、ビジネス変革に向けた実践的なアドバイスを行いました。

○専門家派遣件数 50社

#### ⑤DX 推進人材研修

中小企業者等がDXを推進する際に必要な社内人材を育成するための研修会を実施しました。

○経営者向けDX推進ワークショップ（2日間）	1回	参加者数	7名
○IoT・AI活用人材育成講座（6日間）	1回	参加者数	12名
○RPA入門講座	1回	参加者数	18名
○データサイエンス講座	1回	参加者数	20名
○アジャイルセミナー	1回	参加者数	74名
○IT技術者向けアジャイル研修（4日間）	1回	参加者数	33名
○学生等を対象としたITスクール			
短期集中コース（約2ヵ月）	1回	修了者数	15名
長期コース（約4ヵ月）	1回	修了者数	20名

### (5) 福井県産業情報センター運営（122,905,468円）

#### ①産業情報センター施設運営

県からの指定を受け、福井県産業情報センターの各施設・設備の貸出業務や維持管理等の運営業務を行います。小割化した入居施設やコワーキング<sup>(\*)</sup>スペース、マルチメディアサポートセンターに整備した4Kカメラや編集機器、インターネット配信機器等の最新映像機器を有効に活用しITベンチャーが利用しやすい環境を提供して、情報化に関連した創業者の育成、情報産業振興の拠点施設として利用促進を図りました。

〔 ※フリーランスの方や起業家などが事務所スペース、会議室、打ち合わせスペースなどを共有しながら独立した仕事を行う新しいワークスタイルです。 〕

#### <施設の入居および貸出件数>

○インキュベートルーム、共同研究室、技術開発室の入居件数	366件
○マルチホール、会議室等の貸出件数	898件
○マルチメディア制作コーナーの貸出件数	178件
○嶺南支所パソコン実習室の貸出件数	22件
(同室の相談等貸出以外の件数)	1,458件)

## ②情報化人材育成

県内の情報化人材の育成・確保を図り、中小企業等の情報化を支援するため、日常業務に役立つ実践的な研修やインターネット販売等の電子商取引（EC）、IoTやビッグデータ分析などの各種研修を、産業情報センター、情報センター嶺南支所もしくはオンラインの手法を活用して開催しました。

また、11月からは遠隔地で開催している専門的な研修を受講できる「サテライト研修」を新設すると共に、新型コロナウイルス感染症感染防止のため研修参加を自粛している企業でもオンラインの手法により参加ができるよう必要な設備を整備しました。

○ITコース 54講座（73回） 受講者数 796人

○サテライト研修 30講座（30回） 受講者数 44人

## (6) **①** ITビジネスマッチング推進（1,158,672円）

県内企業の県外企業とのビジネスマッチングの機会を提供するために、県内IT企業の県外の展示会への出展を支援しました。

また、IT企業リストを作成し、IoT・AI・マルチメディア分野など「次世代IT」を利用している県内のIT企業の情報の周知を図りました。

### ①県内ITベンチャー企業の県外展示会への出展支援

○補助率：1/2 補助上限：300千円

○採択事業数 5件 交付決定額 1,315千円

### ②県内ベンチャー企業と中小企業とのビジネスマッチング（共同出展）

○ふくいITフォーラム2021 共同出展 7社

### ③IT関連企業の業務内容調査

掲載社数 47社

## (7) ITセミナー（264,360円）

鯖江市で取り組まれている企業のDX推進策やDX推進にあたり有効な補助金の紹介、GoogleサービスやセールステックなどDXで活用できるツールの紹介などに関するセミナーを開催しました。

○ビジネス活用セミナー 2回 受講者数 54人

## (8) 学生ソフトコンペティション（604,623円）

学生対象のソフトウェアコンペティションを実施しました。アプリケーション作品などを公募・審査し、次世代を担うIT技術者の発掘・育成を図りました。

募集期間：令和3年6月7日～10月15日

応募点数：18点

審査：(予備審査) 令和3年11月13日(土)

(本審査) 令和3年11月27日(土)

表彰：○福井県ソフトウェア大賞 1点

○優秀賞 2点

○福井県IT産業団体連合会会長賞 1点

○協賛企業賞 9点

表彰式：令和3年12月18日(土)(福井県産業情報センター)

#### (9) 支援センター見える化強化(5,846,537円)

情報誌やホームページ、イベント開催等を通じて、当センター事業や成果のほか、企業経営や産業に関する情報を広く発信しました。

##### ①情報誌「FACT」

最新の経済トピックスをテーマとした特集や、経営、マーケティングに役立つ連載、新事業に取り組む県内企業インタビューなど、県内企業に役立つ情報を掲載した情報誌を隔月で発行しました。

○年6回(奇数月発行) 発行部数 3,400部/回

##### ②インターネットによる情報提供

当センターホームページをより利用しやすくリニューアルするほか、SNSを積極的に活用して、企業に役立つ情報をタイムリーに発信しました。

##### ③情報センターを会場としたイベント

kumando ウィークとして、ソフトパークふくい(協)と連携し、情報化をテーマとした基調講演やワークショップ、セミナー等を情報センタービルにて集中的に実施しました。新型コロナ対策の一環として、オンライン参加も導入しました。

○基調講演 1回 参加者数 63名(オンライン視聴者含む)

○ワークショップ 2回 参加者数60名

(参考) 他の事業によるセミナー等 3回 参加者数 123名

##### ④冊子やパネルによる広報

支援成果を紹介するパネル展の開催や、パンフレット、活用事例集、中小企業施策ハンドブック等を作成・配布して事業の周知に努めました。

#### (10) ふくいナビ等機器管理(9,105,418円)

「福井県産業情報ネットワーク」(愛称:「ふくいナビ」)の機器管理およびホームページやメールマガジンの運営を行い、中小企業支援機関における情報の共有化を

推進しました。

○メールマガジン「ふくいナビ情報」講読者数 2,008人（令和3年度末現在）

(11) **新**ベンチャー創出プロジェクト（5,138,564円）

福井ベンチャーピッチを中心に、セミナーの開催や専門家による相談・助言を行うことにより、成長意欲の高い企業経営者の成長実現を支援しました。

①ベンチャー向け相談窓口の設置

ユニークなビジネスモデルでの起業・成長を伴走型で支援するベンチャーブラッシュアップアドバイザーを3名配置し、相談対応を行いました。

○相談実績 79件

②ベンチャー機運の醸成

(ア) ベンチャービジネス創出セミナー

成長意欲の高いベンチャー企業経営者を対象に、「福井発ベンチャーの今と未来を語る」と題したセミナーを開催しました。

○開催回数：1回 参加人数 270名（会場62名・オンライン218名）

(イ) 福井ベンチャービジネスゼミ

経営者として戦略を持って事業拡大するために必要な実践力を養成することを目的に、ランチェスター経営戦略を基本から学ぶ、グループワーク形式の経営戦略勉強会を開催しました。

○開催回数：4回（シリーズ） 参加人数 40名

(ウ) 創業者プレゼン会

29歳以下の創業者を対象にビジネスプレゼンづくりを通してビジネスモデルをブラッシュアップする「U29限定『ビジネスプレゼン合宿』」を開催しました。

○開催回数：1回（2日間） 参加人数 5名

③ベンチャー育成支援

(ア) ベンチャー戦略塾の開催

ベンチャー企業経営者等を対象とした勉強会を開催しました。

○開催回数：6回（シリーズ） 参加人数 28名

(イ) 福井ベンチャーピッチの開催

ベンチャー企業経営者と支援機関（ベンチャーキャピタル、金融機関等）との交流の場をつくり、ビジネスパートナー獲得や資金調達等を支援しました。



○開催回数：1回 登壇者5名 参加人数256名

(会場83名・オンライン173名)

(ウ) 福井アクセラレーションメンタリングの実施

福井ベンチャーピッチに登壇した経営者向けの専門家による個別メンタリング(事業計画実現に向けたアドバイス)を開催しました。

○開催回数：5回 参加人数 25名

## 販路開拓支援に関する事業【公益目的事業2】(68,098,386円)

県内中小企業の自社商品の情報を広く発信するとともに、各種商談会・展示会への出展を後押しすることで、県内外および海外企業との取引拡大と受注の安定を支援しました。

### (1) 新 ふくいの県産品マッチング機会創出支援(10,839,199円)

県内外への販路開拓を希望する食品や県産品関連業者を対象に、大規模食品専門展示会への出展支援や百貨店等の県外流通業者とのWeb商談会の開催等により、取引マッチングの機会を提供しました。

また、WEBサイトを活用した商品情報の提供や食品バイヤーとの個別取引マッチングなどを行いました。

#### ①大規模専門展示会「東京インターナショナルギフト・ショー」への出展支援

出展企業 全8社

来場者数 120,768名(主催者発表)

#### ②大規模専門展示会「スーパーマーケット・トレードショー」への出展支援

出展企業 全22社 ※支援センター18社、敦賀商工会議所4社

来場者数 42,885名(主催者発表)

#### ③県外流通業者との個別商談会の開催 2回

・第1回ふくいの県産品オンライン商談会(対象商品：食)

参加企業 全17社 参加バイヤー数 全10社

商談件数 全45件

・第2回ふくいの県産品オンライン商談会(対象商品：雑貨)

参加企業 全16社 参加バイヤー数 全5社

商談件数 全31件

#### ④県外でのテストマーケティング旅費支援

#### ⑤食品バイヤー向けWEBサイトの運営

○登録企業数 90社 (掲載商品累計 261品目)

○展示商談会やWebサイトを通じたマッチング件数 469件

(2) **新**越境ECを活用した販路開拓支援事業(4,092,542円)

県内企業の越境EC参入への関心が高まる中、越境ECを活用した販路開拓について、参入から、販売促進、課題分析による改善までを伴走型で支援しました。

○越境ECコンサルタントと県内企業とのマッチング会

令和3年6月30日(水) 13:30~17:00

越境ECコンサルティング企業:6社 ※うちオンライン参加 5社

県内企業:19社(面談件数:52件)

○越境ECコンサルタントによる伴走型支援 10社

(3) 下請かけこみ寺(444,965円)((公財)全国中小企業振興機関協会委託事業)

下請取引の適正化を推進するため、「下請かけこみ寺」相談窓口において、専門家による相談対応や紛争解決の支援を行うほか、県内各地において弁護士による移動法律相談会を開催しました。

①相談業務

中小企業の取引に関する相談窓口「下請かけこみ寺」を設置し、専門家が対応しました。また、下請取引上で発生した苦情やトラブルについて、登録弁護士が無料で相談に応じました。

○相談件数 61件

○無料弁護士相談 13件

②裁判外紛争解決(ADR)業務

中小企業者が抱える下請取引等に関するトラブルを、裁判外紛争解決(ADR)手続きにより調停を実施し、迅速な解決を図るため、県内企業に対して制度の紹介など普及啓発を行いました。

③移動相談会等の開催

中小企業者の取引に関する相談について、登録弁護士が出向き「移動相談会」を開催しました。

○開催回数 6回 相談件数 4件

(4) 下請支援体制整備(984,459円)

都道府県における中小企業支援の中核的な支援機関として、全国協会と連携し実施する事業のほか地域中小企業の振興・発展に係る支援事業を実施しました。

(5) **拡**海外事務所運営管理(31,044,354円)

福井県が中国・上海に開設している海外事務所の運営管理を行いました。

○国際展示会・商談会への出展支援

- ・中国国際進口博覧会（上海）、華東交易会（上海）、FOOD TAIPEI（台湾）、浙江省義烏輸入博覧会（浙江省・義烏市）、ものづくり商談会（上海）

## 資金支援に関する事業【公益目的事業3】（308,951,876円）

県内中小企業等の地域資源を活用した商品開発や新分野展開、県内ものづくり企業への技術系人材の就職促進に対して資金支援を行うことや、必要な設備の割賦販売を行いました。

### （1）**拡**ふくいの逸品創造ファンド（9,514,503円）

地域産業の活性化を図るためにふくいの逸品創造ファンドの運用益で、地域資源を活用した中小企業等の商品開発や販路開拓等に対して助成しました。

#### ①地域資源を活用した新商品開発・販路開拓支援

県内の特色ある産業資源（福井の強み）を基に、顧客ニーズを的確につかんで商品計画を立て、最も有利な販売経路を開拓する中小企業等の取り組みに対して、市場調査やテストマーケティング、販路開拓等の経費の一部を助成しました。

○対象者 県内に事業所を有する中小企業等

○助成条件

（ア）地域資源を活用した新商品開発および販路開拓

助成率 中小企業者 1 / 2 小規模企業者 2 / 3

助成限度額 2,000千円

新規採択事業数 7件

交付決定額 13,723千円

（イ）**新**地域資源を活用し直近3年以内に商品化した商品の販路開拓

助成率 中小企業者 1 / 2 小規模企業者 2 / 3

助成限度額 1,000千円

新規採択事業数 4件

交付決定額 3,277千円

#### ②ファンド管理

事業説明会、フォローアップ、審査委員会運営等のファンド管理のための事務を行いました。

### （2）ふるさと企業育成ファンド（87,927,802円）

県内中小企業の元気再生につなげるためにふるさと企業育成ファンドの運用益で支援してきた県内中小企業や創業者に対するアフターフォローのほか、県内ものづくり企業への技術系人材の就職促進に対して支援しました。

①新分野展開スタートアップ支援事業

これまで本事業にて支援してきた中小企業に対する助成金交付やアフターフォローを行いました。

- 対象事業 既存事業の経営資源を活用した経営の多角化や事業転換
- 助成条件 助成率 2/3 助成限度額 10,000千円
- 助成金交付  
過年度に交付決定した助成事業が完了したことにより、助成金を交付。  
交付実績 11件 交付額 63,384千円

②創業支援事業

これまで本事業にて支援してきた創業者に対する助成金交付を行いました。

- 対象事業 創業者が行う地域の需要や雇用を創出する事業
- 助成条件 助成率 2/3 助成限度額 2,000千円
- 助成金交付  
過年度に交付決定した助成事業が完了したことにより、助成金を交付。  
交付実績 8件 交付額 12,913千円

③ものづくり人材育成修学資金貸付支援事業

県内外の理工系大学院（修士課程・博士課程）に在学し、県内ものづくり企業に就職を希望している学生に対して、修学資金を貸与しました。

- 貸与金額 月額6万円
- 返還免除条件 県内に本社または生産拠点を有するものづくり企業に就職し、継続して7年間勤務
- 貸与決定学生数 9名 貸与額 10,800千円

(3) **新**新事業チャレンジステップアップ事業（877,073円）

ふるさと産業の成長発展の促進を図るため、高い成長意欲と優れた技術を持つ中小企業の企業規模拡大に向けた新事業展開の取り組みに対して支援しました。

- 補助対象 県内中小企業者のうち年間売上高が10億円未満の者
- 助成条件 助成率 2/3 助成限度額 5,000千円  
※ 経営戦略のブラッシュアップに向けたコンサルティング等の経費について1,000千円上乗せ支援
- 採択者数 12件 交付決定額 43,415千円

(4) **新**ふくい地域経済循環ファンド（600,000円）

高い成長意欲と優れた技術を持つ企業の規模拡大を促すため、県内金融機関と協力して100億円（金融機関80億円、県20億円）のファンドを創設。

(5) おもてなし産業魅力向上支援事業 (66,499,449円)

北陸新幹線の本県開業にあわせ、本県に数多くの観光客やビジネス客が訪れることが見込まれる。そこで、高速交通開通アクション・プログラムのエリアおよび各エリアをつなぐ幹線道路沿いのおもてなし店舗等における観光客等の受入れ態勢整備について支援しました。

①店舗・施設改装設備導入

- 補助対象 食品・工芸品等製造事業者、飲食店、土産品店、宿泊施設
- 助成条件 助成率 2/3 助成限度額 3,000千円
- 採択者数 25件 交付決定額 66,617千円

②商品開発

- 補助対象 食品・工芸品等製造事業者
- 助成条件 助成率 2/3 助成限度額 2,500千円
- 採択者数 2件 交付決定額 3,142千円

(6) **新**デジタル技術活用促進事業 (60,155,489円)

DX化を促進するために必要なITシステム導入の費用を支援しました。

①IT導入支援補助金

- 助成対象： 国のIT導入補助金を活用して社内システムの連携を実施する企業を上乗せ支援
- 助成条件： 補助率 1/2 補助上限額 2,250千円
- 採択件数 21件 交付決定額 9,221千円

②IoT・AI・ロボット等導入促進事業補助金

- 助成対象： IoT・AI・ロボット等を活用して、生産性の向上や新製品、新サービス創出を目指す企業を支援
- 助成条件： 補助率 1/2  
補助上限額 IoT 2,000千円  
AI・ロボット 10,000千円
- 採択件数 12件 交付決定額 49,615千円

③5G通信環境を活用した実証事業補助金

- 助成対象： 5G通信環境を活用し、新サービス・新商品の開発等を行う企業を支援

- 助成条件： 補助率 2 / 3 補助上限額 10,000千円
- 採択件数 1件 交付決定額 2,367千円

**(7) 学生ベンチャー・チャレンジ応援事業 (1,495,060円)**

若者の新しい視点に基づく創業、新サービスの創出を促進するため、学生等の起業にかかる経費や初期段階における活動経費を支援しました。

- 助成条件 助成率 10 / 10 助成限度額 950千円
- 交付件数 3件 交付決定額 2,753千円

**(8) UIターン移住創業支援事業 (10,702,684円)**

県外からのUIターンによる創業者に対する助成制度を創設し、UIターン者のスキルを活かした創業を促進することにより、本県の開業率の向上・県内産業の活性化を図りました。

- 助成対象者 県外から移住し、県内で創業するもの
- 助成条件 助成率 2 / 3 助成限度額 2,000千円
- 助成件数 7件 交付決定額 12,000千円

**(9) 設備貸与 (66,411,147円)**

①小規模企業者等設備貸与

小規模企業者等の設備導入を、低利の割賦販売で支援しました。また、この制度を利用中の企業に対して、経営指導などのフォローアップを行いました。

[事業実施状況]

- 貸与実績 1件 8,800千円

②設備貸与債権管理

過年度までに設備貸与事業で貸与した利用者からの割賦料もしくはリース料の回収、利用者に対する経営指導などのフォローアップ、および県に対する借入金の償還等を行いました。

[債権管理状況]

- 正常債権の状況
  - 年度末残額 56百万円 (割賦 43百万円、リース 12百万円)
- 未収債権の状況
  - 年度当初未収債権額 15.3百万円 (4件)
  - 年度内増加額 0.7百万円 (1件)
  - 年度内減少額 2.0百万円 (4件)
  - 年度末残高 14.0百万円 (4件)

[利用状況調査および巡回指導事業の実施状況]

## 技術開発・デザイン振興に関する事業

### 【公益目的事業4】(278,881,621円)

県内産業を支える企業のモノづくりのための技術開発、新技術の研究開発、国や他機関の公募型の受託事業および補助事業を活用した産学官金の緊密な連携・交流、商品企画やデザイン活用によるブランド力強化のためデザイナーの派遣や研修、大都市圏で活躍するバイヤー等による市場戦略指導などを通じて、技術開発・商品開発の促進、経営基盤の強化等を総合的に支援しました。

#### (1) ふくいブランドものづくり推進(8,587,035円)

##### ①ふくい産業技術広報

技術情報を掲載した機関誌「テクノふくい」の発行や、大学や公設試の技術シーズ展示等を実施しました。

○機関誌発行 2回(デジタルブックにて発行)

○展示会出展(北陸技術交流テクノフェアなど)

##### ②新技術・新工法展示商談会

県外大手企業等が要求する技術ニーズや製品等と県内企業の技術シーズや製品とのマッチングを図るため、成長産業であるヘルスケア関連分野の機械要素・加工技術を一堂に集めた商談型専門技術展『第12回ヘルスケア・医療機器開発展(東京)』に福井県ブースを出展しました。

○出展企業・機関数 6企業 ○商談設立件数 3件(会期中)

##### ③技術研究開発マンパワー育成

将来の技術研究開発を担う人材を育成するため、繊維分野における優秀な県内技術者・研究者2名・1グループを表彰しました。また、若手技術者・研究者の海外展示会での先端技術の発表に対して助成しています。

○表彰 繊維技術功績賞 2名、1グループ

○助成 次世代技術国際発信支援 0件

##### ④オープンイノベーション推進部運営

産学官連携の推進を図るための事務を行いました。

#### (2) 産学官連携・交流(1,762,232円)

##### ①産業技術コーディネート

先進施設等の調査を行い、また企業の技術者とともに大学研究室訪問を実施するなど、技術ニーズと研究シーズのマッチングのためにコーディネート活動

を行いました。

○ふくいオープンイノベーション推進機構の運営

○イノベーションリサーチ交流会（IR交流会）の開催 98回

## ②産総研等連携推進

産業技術総合研究所（産総研）やNEDO等と県内企業とのマッチングや、共同研究に向けた可能性試験調査研究（FS）を支援することにより、県内企業の新たな研究開発の促進や販路開拓を支援しました。

○マッチングイベントの開催（ショートセミナー等）6回

○産総研連携研究支援（可能性試験調査研究）1件

## ③研究開発創出・補完研究開発支援

当センターがこれまでに推進してきた産学官共同研究プロジェクトの成果を活用し、実用化を目指して研究開発していく企業の補完研究を支援しました。

その他、冊子「産学官共同研究プロジェクト」を作成・配布しました。

## （3）広域的連携技術研究開発（210,400,076円）

### ①戦略的基盤技術高度化支援 [経済産業省補助]

中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律に基づく技術分野の向上につながる研究開発からその試作までの取り組みを支援しました。

[研究テーマ]

A 波長カットフィルムを用いた視覚補正カスタマイズレンズ製造技術の開発と実用化システムの構築

(株)ホプニック研究所、三井化学(株)、北里大学)

B 高圧配管用継手の機械加工ラインにおける画像認識AI活用による内面バリ検査自動化システムの開発

(株)日本エー・エム・シー、福井大学)

C 既存心臓人工弁尖材料の課題を自己組織化で克服する経編の応用

(福井経編興業(株)、大阪医科薬科大学)

D 要介護者のQOL向上と介護者の業務負担軽減を実現するAI活用型非接触排泄予測システムの研究開発

(株)永和システムマネジメント、福井大学)

E 安全・審美性・機能性に優れ「建築の質向上」に貢献するガラス三軸織天井材の開発

(サカセ・アドテック(株)、日本大学、ものづくり大学、福井大学)

F 洗浄可能で環境に配慮した航空機座席用軽量多層構造織物クッション



#### 材の研究開発

(永平寺サイジング(株)、横浜ホームラバー(株)、金沢大学、  
福井大学、福井県工業技術センター)

#### G 微量液滴アトマイズ法による金属粉末の革新的製造技術開発

(大研化学製造販売(株)、大研化学工業(株)、東北大学、  
産業技術総合研究所、福井県工業技術センター)

#### H 省エネ・快適性に貢献する自動車シート材に対する安定した超音波パ ンチング連続加工(量産)技術の研究開発

((株)マルヤテキスタイル、福井大学、福井県工業技  
術センター)

#### [研究期間]

- A 令和元年度～令和3年度(3年間)
- B 令和元年度～令和3年度(3年間)
- C 令和2年度～令和3年度(2年間)
- D 令和2年度～令和4年度(3年間)
- E 令和2年度～令和4年度(3年間)
- F 令和2年度～令和4年度(3年間)
- G 令和2年度～令和4年度(3年間)
- H 令和3年度～令和5年度(3年間)

#### ②中小企業等外国出願支援

特許や商標などの知的財産を活用し海外事業展開を図る中小企業に対して、  
戦略的な知的財産の外国出願支援を行いました。

○支援企業数 7社 10件

#### ③地域イノベーション・エコシステム形成プログラム [文部科学省補助事業]

福井大学産学官連携本部およびふくいオープンイノベーション推進機構と連  
携し、福井大学が有する光の制御技術をコアとした超小型光学エンジンの用途  
展開、事業化を推進するための支援を行いました。

- ふくい光学エンジン研究会の開催 1回
- 第12回ヘルスケア・医療機器開発展(東京)へ出展
- 各種学会等調査
- 可能性試験委託 2件

#### ④新規分野への研究成果転用支援

○新規分野への転用を支援するプロジェクトマネージャー1名、

連携コーディネーター2名を配置

○新規分野の展示会出展、事業化事例および評価技術の講習会を開催等  
<展示会出展>

展示会名 : メッセナゴヤ2021

出展者 : 840社・団体 来場者数 : 36,868名

福井県出展者 : 10社

<講演会>

1. 「航空・宇宙分野における信頼性向上のためのマネジメント」講演会  
(ふくい宇宙産業創出研究会と共催)

場 所 福井県工業技術センター B206

参加者 37名

2. 「モビリティ分野へのCFRPの応用」講演会 (FOIP、FCCと共催)

場 所 福井県工業技術センター C101

参加者 99名

#### ⑤研究開発フォローアップ

戦略的基盤技術高度化支援等の受託事業について、事業終了後の補完研究、事業化状況、新事業展開等のフォローアップ等を行いました。

#### (4) 受託研究・共同研究 (10,269,887円)

県内ものづくり企業等の技術・製品の成長分野への進出を促進するため、県外企業等から研究に要する経費を受入れ、オープンイノベーション推進機構をとおして、受託研究や共同研究を実施しました。

#### (5) 技術情報化推進 (924,505円)

福井県工業技術センターの技術開発成果等をインターネットや小冊子で広く周知する事業を福井県から受託して行いました。

#### (6) デザイン情報提供 (427,412円)

##### ①デザイン情報の収集・発信

さまざまなデザイン情報を収集し、インターネットや情報誌などを用いて、県内企業やデザイナーに情報を配信しました。

○Facebookを活用した情報提供 (随時)

○デザインライブラリーの整備(デザイン関連雑誌5誌他)

##### ②デザイナーバンクの整備

県内デザイナーを活動別に分類・登録し、企業等に紹介しました。

○登録公開デザイナー数 74名

③デザイン指導相談

企業が抱えるデザインに関する課題に対して、職員が相談および指導を行いました。

○指導相談件数 1,045件

④職員の派遣(審査員、委員、講師等)

審査員等として職員を派遣し、デザイン啓発支援を行いました。

○派遣件数 8件

(7) デザインラウンジ交流 (1,110,721円)

県内産業のデザイン力および市場への販路開拓力の向上を目的に、福井ものづくりキャンパス施設等を活用した展示企画を実施しました。

○県内企画(実施回数 7回)

(8) 福井ものづくりキャンパス教室運営 (4,996,537円)

福井ものづくりキャンパスを、ものづくり産業の振興や人材育成の拠点として活用するために、ものづくり企業、職人、デザイナー、学生など幅広い層を対象に講座・教室等を開催しました。

○メディア発信

「ものづくりラジオ」

実施方法 FM福井 番組「Morning tune」内コーナーにて放送

実施回数 全12回(各20分)

○講座・教室

会場：福井ものづくりキャンパス ワークルーム等

・だれでもデザイン教室 3回 参加者数 50名

・工芸ワークショップ 2回 参加者数 24名

○展示

実施回数：「SIX BOX EXHIBITION」5回 来場者数 10,300名

会場：福井ものづくりキャンパス デザインラボ前フロア

○広報関係

福井ものづくりキャンパスの講座・教室等を新たに開設した専用ページに加え、ラジオ、インターネット、SNS等を活用して広報しました。

(9) 産業デザインプロデュース (2,274,819円)

①デザイナー派遣

商品企画、デザイン開発、販路開拓等、企業の要請に応じ、県内の専門デザイナーを派遣し、具体的な指導を行いました。

○派遣企業数 4社 派遣回数 24回

②グループカウンセリング

団体、企業グループを対象に、市場動向、商品企画、デザイン評価等共通する課題に対し、第一線で活躍しているデザイナー等の指導によるカウンセリングを行いました。

○指導グループ数 5グループ 指導回数 8回

(10) 福井デザインアカデミー (2, 141, 370円)

県内中小企業の経営者や商品開発担当者に対して、デザインマネジメントや商品開発手法、デザインプロモーション戦略等に関する研修を実施しました。

○ブランディング&商品開発講座 受講者数 9名

(11) デザインコネクト (2, 900, 000円)

デザインの活用によって成長が期待される企業向けに、デザイン導入時の課題を解決し、商品・サービスの実現につながるセミナーと展示販売会を開催しました。

①デザインセミナー 受講者数 422名

②展示販売会1

会場：福井ものづくりキャンパス 多目的ホール

内容：「福井の新しいお土産」をテーマに、セレクトショップオーナーが選ぶ逸品を紹介する展示販売会

③展示販売会2

会場：福井ものづくりキャンパス 2階 通路のフリースペース

内容：コンサート等で県内外から訪れる福井ものづくりキャンパスの利用者に紹介

**人材育成に関する事業【公益目的事業5】(101, 508, 869円)**

企業等の経営者、管理者および技術者等の育成と能力向上を図るための研修を実施しました。

(1) 人材育成《集合研修》(1, 352, 182円)

多様な企業のニーズに応じた研修テーマを設定して、集合研修を実施しました。

○チームビルディングや人事考課などの研修 3本(7本中止) 受講者数 59人

(2) 福井県中小企業産業大学校運営 (59, 193, 657円)

①中小企業産業大学校施設運営

指定管理者として、県内中小企業における研修や会議等に必要な経営者や従

業員の経営管理または技術に関する研修等に必要な施設・設備の提供や、維持管理等の運營業務を行いました。新型コロナウイルス感染症対策を行い、利用者が安心して利用できる環境を整えました。

○施設貸出件数 1, 858件

## ②経営・技術人材育成

中小企業の経営者、管理者および技術者等の育成と能力向上を図るための研修を実施しました。

○新社会人研修や現場改善などに関する研修 25講座 受講者数394人

○眼鏡およびその他の専門分野の

生産技術に関する研修 3講座 受講者数 44人

○産業技術専門学院連携実務講座 1講座 受講者数 5人

○公開講座（産業技術専門学院連携） 1講座 受講者数 49人

## ③キャリアアップ支援

中小企業産業大学校に「リカレント教育総合支援センター」を設置し、働きながら学ぶ従業員のキャリアアップを支援しました。また、企業の人材育成計画についての相談には、それぞれの課題やニーズにあわせて支援しました。

○大学等の講座情報の収集および提供

○自主学习支援ブースの設置 利用人数 686名

○通信制大学の入学説明会等の誘致

○キャリアアップに関する相談実施

相談件数 専門家対応 4件 職員対応 65件

## (3) ものづくり改善事業

### ①ものづくり改善インストラクタースクール

県内ものづくり企業の生産現場の問題把握や業務改善の助言・指導を行う人材を育てる「福井ものづくり改善インストラクタースクール」を開講しました。

受講者：13名

ものづくり改善インストラクター派遣では、スクールを修了した企業OBを専門家として、有料で県内企業に派遣し、具体的な現場改善活動を支援しました。

インストラクター派遣数 5企業 延べ25回

### ②ものづくり改善提案具体化事業 (572, 576円)

「ものづくり改善インストラクタースクール」において「現場改善実習」や「派遣事業」を実施した企業からの要望を受け、改善提案の次のステップとして、現場での実践・展開を通して具体的な生産性向上につなげる「改善提案の具体化」の支援をしました。

インストラクター派遣数 2企業 延べ15回

## 企業等の個別の要望に対して実施する経営支援等に関する事業

### 【収益事業1】（4,312,136円）

中小企業等の成長促進のため、公益事業で行っている事業では対応できない、企業等が求める個別具体的な課題解決に対し、専門性の高いニーズに対応するため、当センターが持つ支援機能およびネットワークを活用して支援を行いました。

#### （1）経営コンサルティング（413,431円）

新型コロナ対策の相談対応に注力するため、今年度は実施しませんでした。

#### （2）教育コンサルティング（1,880,345円）

○実施件数 8社（10件）

#### （3）デザイン受託（1,965,082円）

行政、公共団体等からデザイン制作等を受託して、デザイン振興部の企画管理のもと、県内デザイナー(デザイナーバンク等)を活用して制作を行いました。

○受託件数 2件

## 法人事業（52,340,522円）

事務所および情報機器等の借上・運営や、資質向上を図るための職員の研修など、法人の運営・管理を行いました。

①法人運営に要する事務局経費

②職員能力開発強化

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中小企業基盤整備機構の中小企業大学校で開催される研修等への職員派遣は中止しました。